

●1軸1次バルンサー

270°位相クランクにおいて、2気筒相互のピストン往復運動による1次振動を消すことは理論上不可能ですが、お互いのピストン往復運動によって2次振動は打ち消すことが可能です。

したがって、2次振動が発生しない270°位相クランクでは、1軸1次バルンサーを追加することで1次振動を消すことができます。その場合、クランクシャフトとバルンサーシャフト間の寸法に比例した1次カップリング振動が残りますが、排気量、出力特性と振動の関係を研究し、最適な振動セッティングとするために2気筒の振動を完全にバランスさせて消し去る2軸1次バルンサーではなく、あえて1次カップリング振動を残す1軸1次バルンサーを選択しました。これにより、不等間隔爆発の鼓動感を生かしたエンジンの味わいを生み出しています。

■1軸1次バルンサー エンジンレイアウト